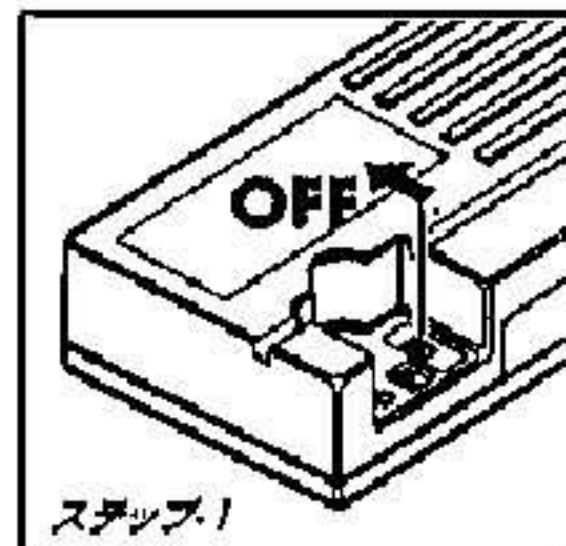


EGS-M2・M2k・G2・タイプE L端子検出方法への変更方法

ステップ1

一旦、本体のパワースイッチを切ります。

既に付属の安全センサーケーブルが本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行って下さい。



ステップ2

車両のオルタネーターから出ているL端子線を探します。

L端子線とは、イグニッションONの位置でエンジンが停止している時、約1~3V、エンジンが駆動している時12~14Vになる線です。
(必ずテスターをご使用下さい。)



メモ

車両によって室内からL端子線をとれる車もあります。詳しくは当社ユーザーサービス係までお問い合わせ下さい。

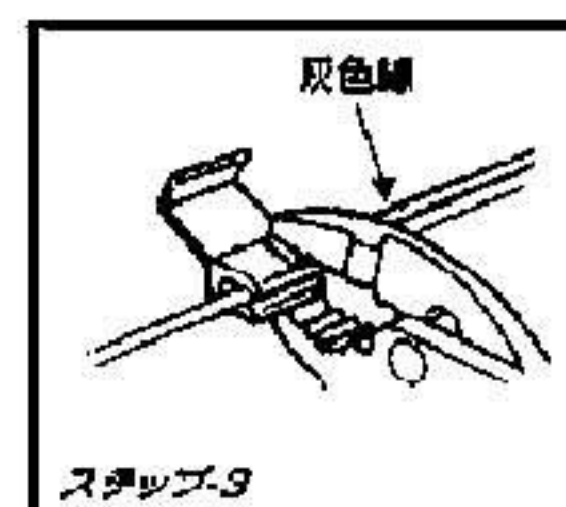
ステップ3

安全センサーケーブルの灰色線を接続します。

安全センサーケーブルの灰色線を車室内からグロメット等を利用して、エンジンルームに引き込み、オルタネーターから出ているL端子線に付属のエレクトロタップで接続します。

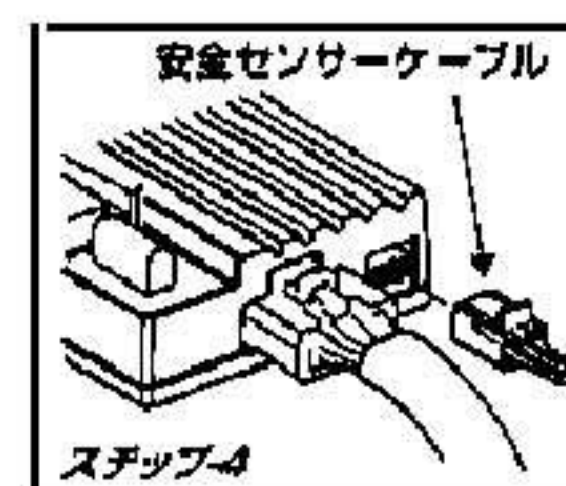
注意

接触不良が起きない様に確実に取り付けて下さい。灰色線がボディの金属部分に触れると、ショートを起こし車両故障の原因となる恐れがあります。



ステップ4

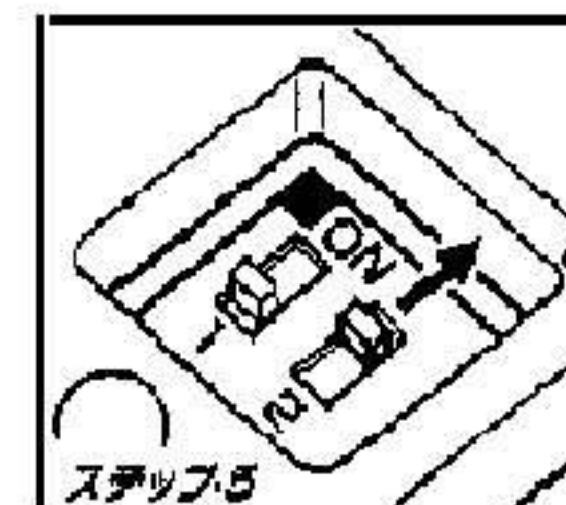
安全センサーケーブルを本体のコネクター部(CN2)に接続します。



ステップ5

本体モードスイッチの2番をONにします。

スイッチが小さい為、ボールペンの先端等で行って下さい。



OK!

以上L端子配線は終了です。

パワースイッチをONにしてリモコンで問題なくエンジン始動出来る事を確認して下さい。L端子配線が正しく接続されているか確認する事が出来ます。確認する場合は「L端子検出配線チェック機能」に進んで下さい。尚、この機能は「モードスイッチの2番がON」の時のみ行う事が出来ます。